第1.5版

3.整備事業者向け研修資料
（特定DTC照会アプリ操作方法）

独立行政法人 自動車技術総合機構

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

1. 研修の目的と研修項目

研修の目的

本研修は、OBD検査システムを構成するシステムのひとつである特定DTC照会アプリの機能概要、特定DTC照会アプリを用いたOBD検査業務の流れ、特定DTC照会アプリの操作方法について把握することを目的としています。

研修項目

- OBD検査システムの概要
- 特定DTC照会アプリの機能概要
- アプリ操作フロー
- アプリ利用にあたって必要なもの
- ログインとログアウト
- 車両の受付をする
- アプリでOBD検査要否確認を行う
- データリンクコネクタの位置を確認する
- OBD検査を行う
- OBD検査結果を確認する
- 設定を確認する
- 関連情報を確認する

※本資料に掲載されている画面は、実際の画面とは異なる場合があります。

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

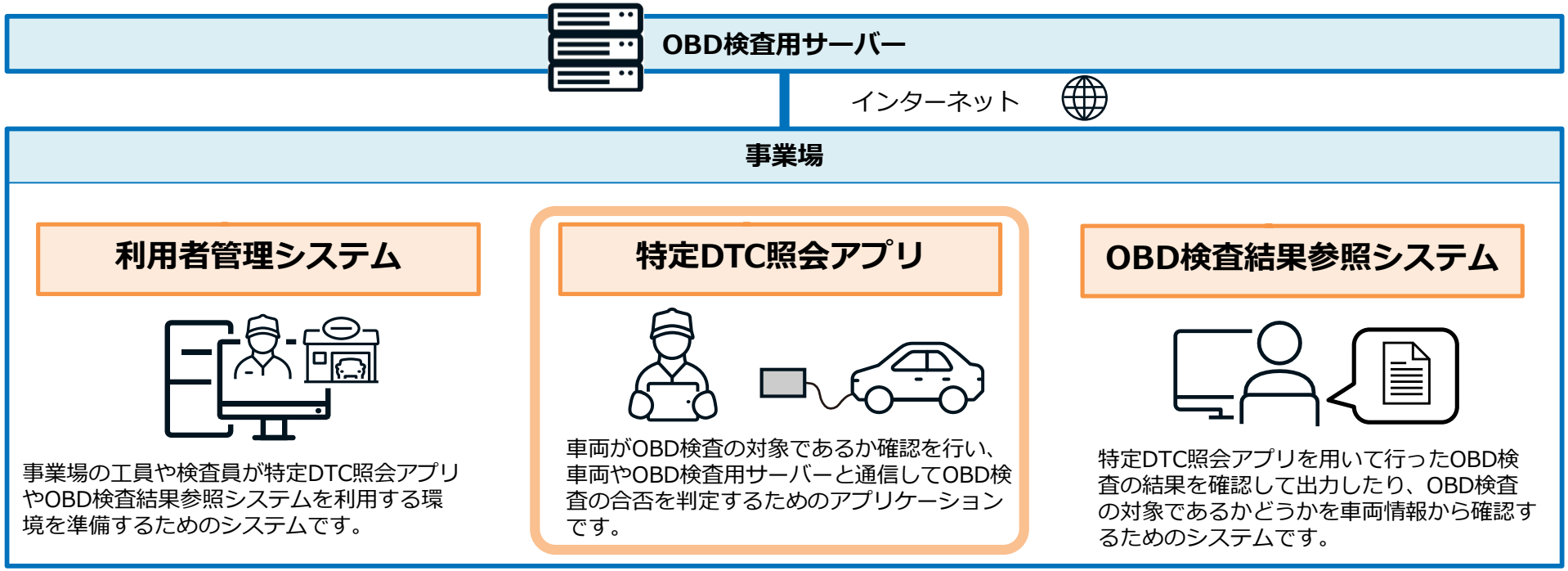
2. OBD検査システムの概要

Point OBD検査用サーバーに接続してシステムとアプリを利用

OBD検査は、OBD検査システムを利用して行います。OBD検査システムは以下のシステム・アプリで構成されています。

- 利用者管理システム
- 特定DTC照会アプリ
- OBD検査結果参照システム

各システム・アプリに接続するには、事業場からインターネット接続でOBD検査用サーバーにアクセスします。
本研修資料では、特定DTC照会アプリについて説明します。

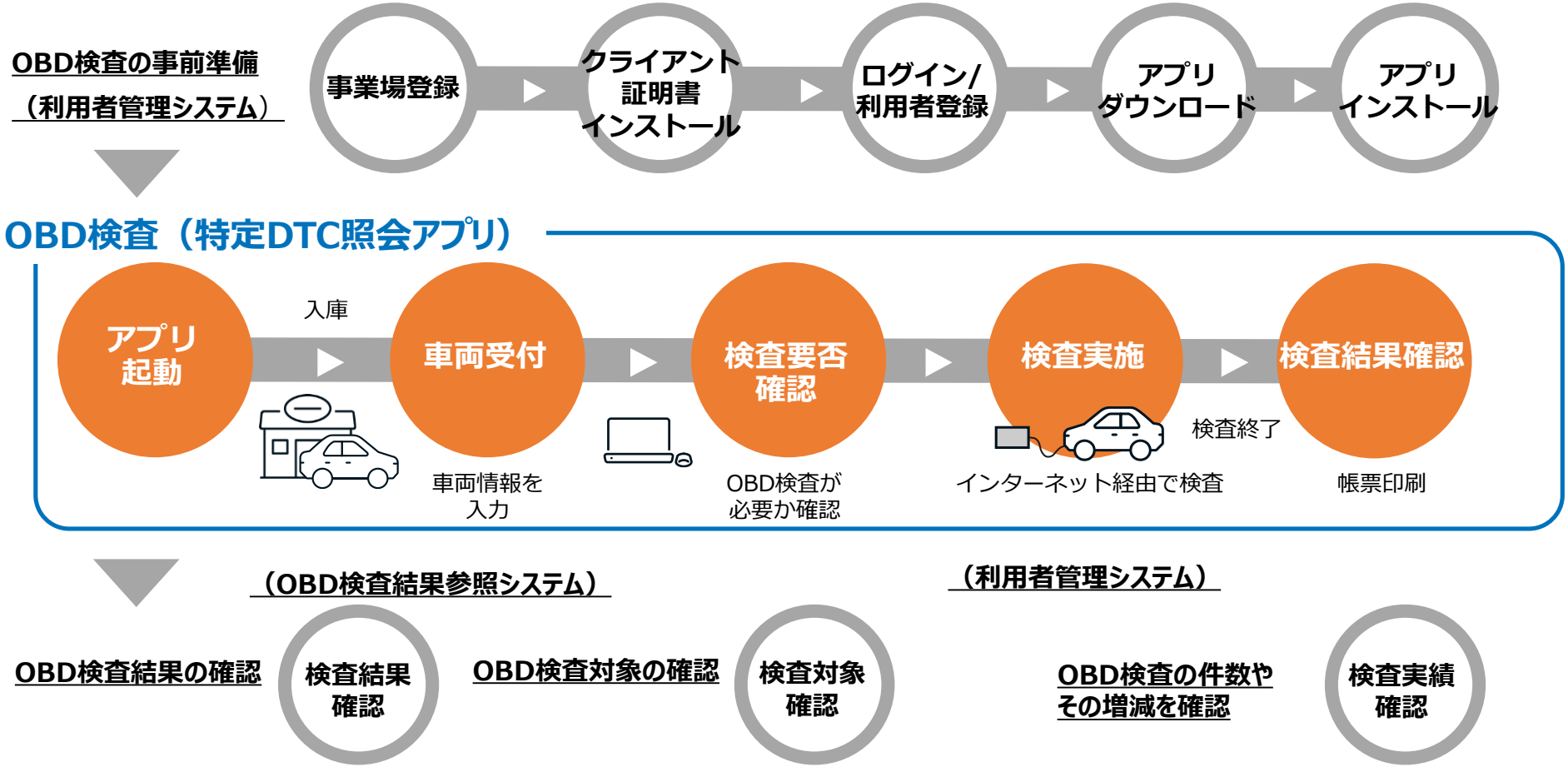


Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

3. 特定DTC照会アプリの機能概要

Point 車両情報入力、OBD検査の要否確認、OBD検査、OBD検査結果確認の流れで業務を実施

特定DTC照会アプリ（以降、「アプリ」と記載）は、車両がOBD検査の対象か確認を行い、車両やOBD検査用サーバーと通信してOBD検査の合否を判定するためのアプリケーションです。
利用者管理システムでOBD検査の事前準備を行った後、アプリでOBD検査を行います。



※OBD検査結果をアプリとOBD検査結果参照システムで確認できます。

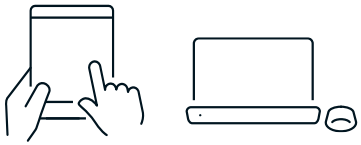
Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

4. アプリ操作フロー

アプリを使用した業務フローは以下のとおりです。

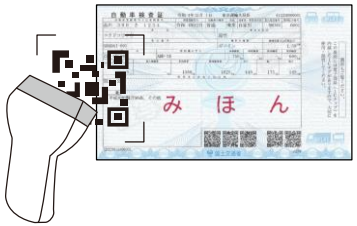
アプリ起動

アプリにログインする



車両受付

車両受付をする …車両の情報を入力します。

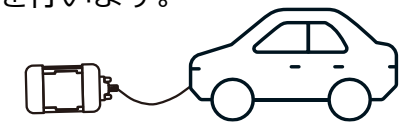


検査要否確認

アプリでOBD検査要否確認を行う …OBD検査が必要か確認します。

検査実施

OBD検査を行う …車両に検査用スキャンツールを接続してから、
車両のエンジンをONにし、OBD検査を行います。
インターネット経由で検査が行われ、
合否が自動判定されます。



検査結果確認

OBD検査結果を確認する …アプリでの検査結果確認のほか、
検査結果の帳票出力も可能です。

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

5. アプリ利用にあたって必要なもの

Point 事前にOBD検査を実施する事業場と利用者の登録、インターネット環境や機器の準備が必要

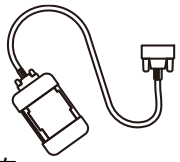
環境・機器の準備

通信環境および検査で使用する検査用スキャンツールなどの機器を準備する必要があります。
検査用スキャンツールには、クライアント証明書とアプリをインストールする必要があります。

インターネット環境

通信障害が発生した場合の対応は、OBD検査ポータルのお知らせ画面等を通じてお知らせします。

検査用スキャンツール

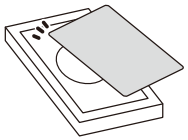


VCI

Windows10以上がインストールされたPCまたはタブレット

二次元コードリーダ

ICタグリーダ

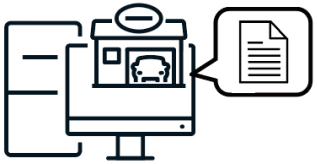


車検証読み取り用
手入力も可能なため、必要に応じて準備

OBD検査の準備（利用者管理システム）

OBD検査システムを利用してOBD検査を実施するには、利用者管理システムでOBD検査を実施する事業場および工員または検査員の登録をする必要があります。

OBD検査を実施する事業場の登録



工員または検査員の登録

※ 検査用スキャンツールは、OBD検査に対応した機器を使用する必要があります。
対象機器の詳細については、日本自動車機械工具協会のホームページを参照のうえ各自ご準備ください。
※ 二次元コードリーダおよびICタグリーダの関連情報については、OBD検査ポータルサイトにて詳細をご確認ください。
※ OBD検査システムで使用する端末の詳細な動作環境については、特定DTC照会アプリ操作マニュアルの「1.2 アプリの動作環境」をご確認ください。

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

これ以降、アプリで行う以下の作業について説明します。

- **基本的な操作**
  アプリにログインします。
  6. ログインとログアウト

- **OBD検査の実施**
  OBD検査を開始します。項目番号順に作業を行います。
  7. 車両の受付をする
  8. アプリでOBD検査要否確認を行う
  9. データリンクコネクタの位置を確認する
  10. <車検証読取り、車両受付と要否確認、コネクタ位置確認の講師デモ>
  11. OBD検査を行う

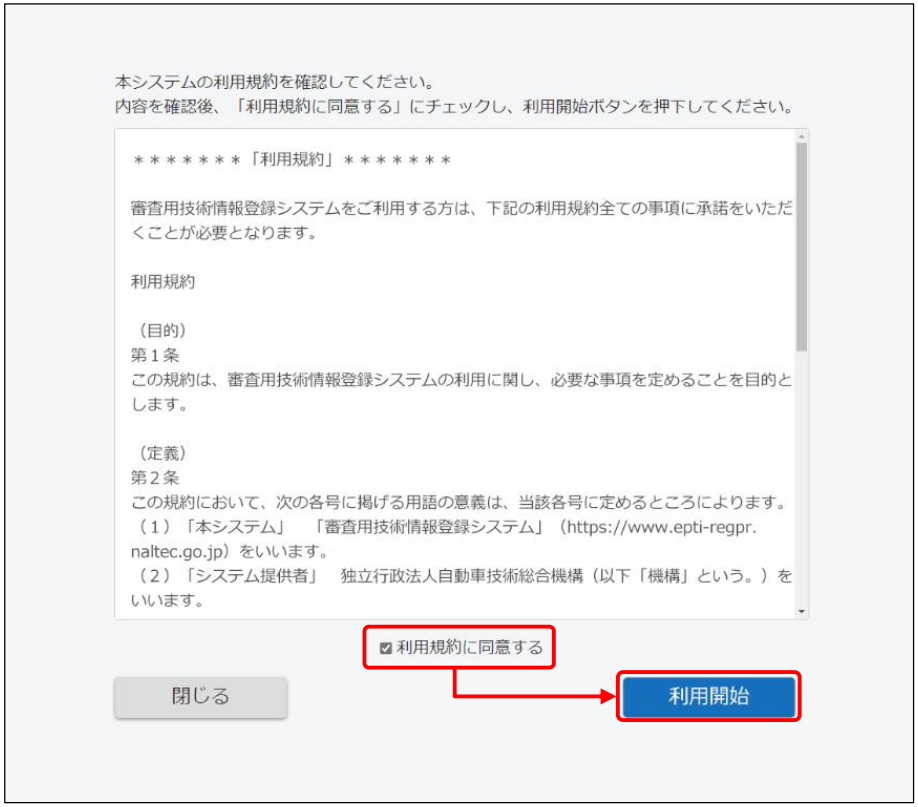
- **OBD検査結果の確認**
  OBD検査を実施した後、OBD検査結果を確認します。
  13. OBD検査結果を確認する

- **OBD検査開始前の設定確認**
  OBD検査に使用する検査用スキャンツールや二次元コードリーダなどの設定を確認します。
  15. 設定を確認する

- **参考情報の確認**
  必要に応じて、過去に実施したOBD検査の履歴や、車両についての参考情報を確認します。
  16. 関連情報を確認する

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

利用規約を確認後、「利用規約に同意する」にチェックを付け、「利用開始」を押す



パスワードを入力し、「変更」を押す

①「現在のパスワード」に初期パスワードを入力します。
②「新しいパスワード」に新しいパスワードを入力します。
③「新しいパスワード（確認）」に②で入力したパスワードと同じパスワードを入力します。

パスワードは、以下の条件をすべて満たす必要があります。

- 以下の3種類を、それぞれ1文字以上使用すること
  半角英字：A～Z、a～z
  半角数字：0～9
  半角記号：「-」「_」「.」「@」
  例）Abc@92_i
- 8文字以上20文字以下で、ユーザーIDと異なる文字列であること

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

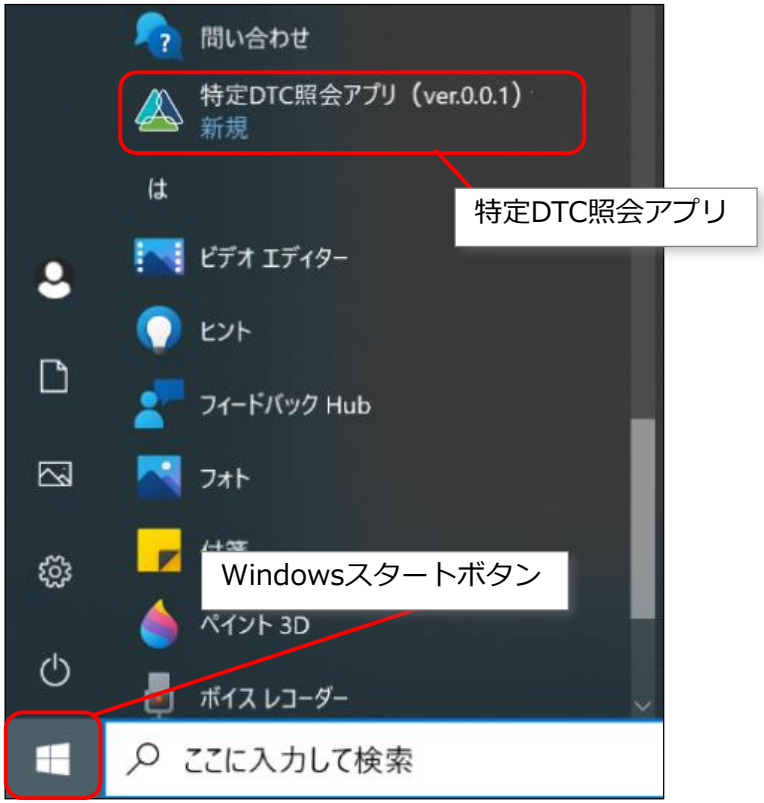
6. ログインとログアウト

Point ユーザーIDおよびパスワードはOBD検査結果参照システムと共通

アプリにログインする（初回）

アプリを起動する

Windowsスタートボタンを押し、表示されるアプリの中から「特定DTC照会アプリ」を選択します。



管理責任者または統括管理責任者から通知された「ユーザーID」、「パスワード」（初期パスワード）を入力し、「ログイン」を押す

ユーザーIDとパスワードの取り扱いについて、以下のことに注意してください。

- ユーザーID、パスワードは、個人を特定する重要な情報です。他者との共有や他者への貸出しを行わないでください。
- パスワード漏洩のリスクを減らすため、パスワードのメモを作成しないでください。また、使用する端末にパスワードを記憶させないでください。
- パスワード漏洩のおそれがある場合には、パスワードを変更してください。
- ユーザーID、パスワードを忘れた場合は、管理責任者または統括管理責任者にお問い合わせください。

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

「メニューへ戻る」を押す

《メニュー》画面が表示されます。

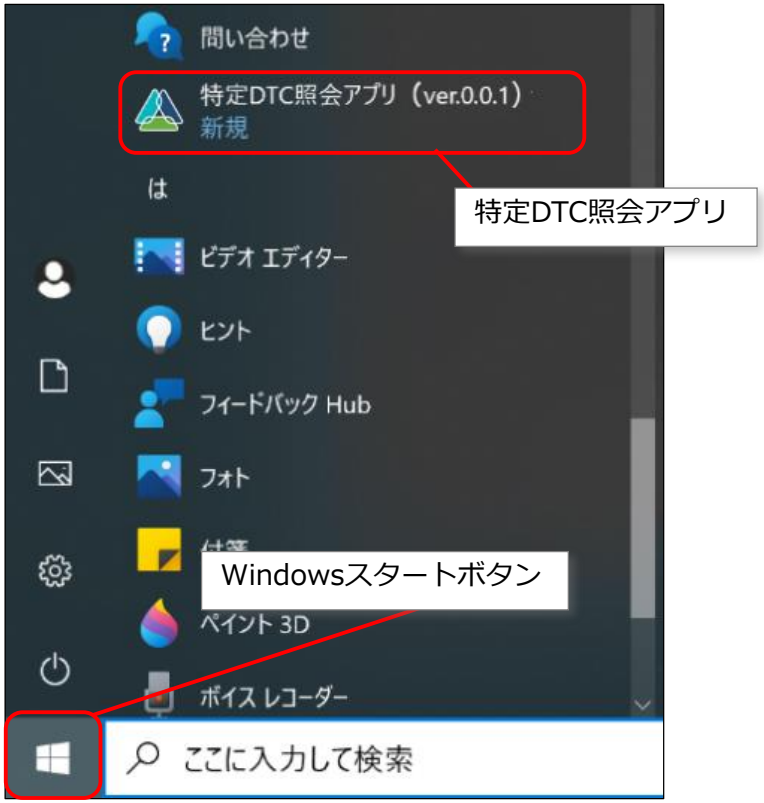
次回からは、設定した新しいパスワードでログインしてください。

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

アプリにログインする（2回目以降）

アプリを起動する

Windowsスタートボタンを押し、表示されるアプリの中から「特定DTC照会アプリ」を選択します。



アプリの起動時にはバージョンチェックが行われます。アプリが更新された際には、画面の表示に従ってアップデートを行ってください。アップデート時に、「いいえ」（アップデートしない）を選択すると、アプリは起動できません。

「ユーザーID」、「パスワード」を入力し、「ログイン」を押す

《メニュー》画面が表示されます。

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

アプリからログアウトして終了する

各画面の右上にある「ログアウト」を押す

ログイン画面の右上にある「終了」を押す

特定DTC照会アプリの画面が消え、デスクトップが表示されます。

ログインしたまま30分間操作されない状態が続くと、セッションタイムアウトし、自動的にログアウトします。
セッションタイムアウトした場合は、再度ログインをする必要があります。

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

7. 車両の受付をする

Point 車両情報をアプリに入力

この手順から実際のOBD検査がはじまります。車両受付とは、車両の情報をアプリに入力することです。
アプリでは、最初にモードを、続いて検査用スキャンツールを選択して、車両受付を行います。

モード・検査用スキャンツールを選択する

目的に応じて、利用するモードを選択します。次に、車両と接続する検査用スキャンツールを選択します。

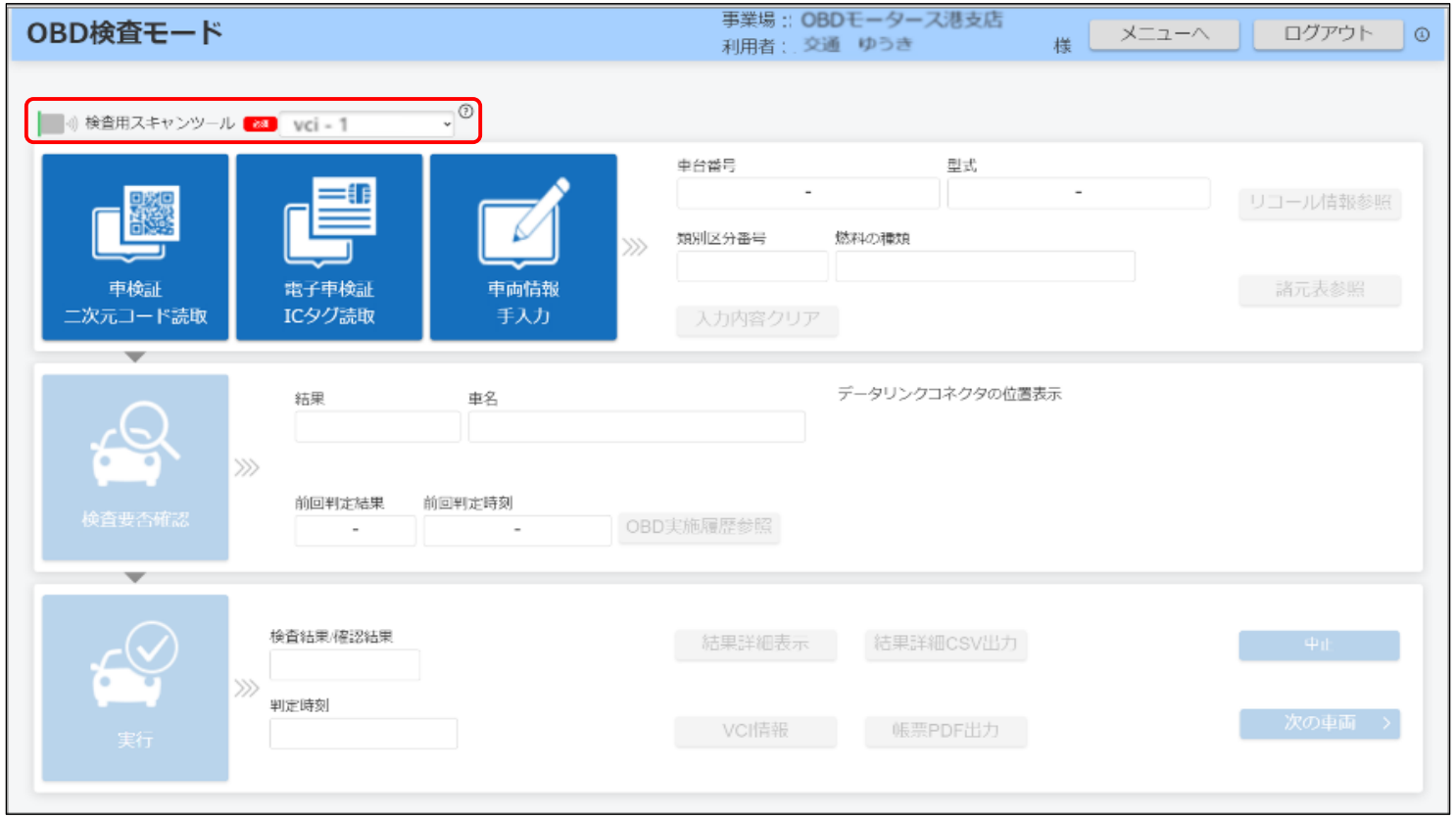
モードを選択する

表示されるモードは利用者に応じて異なります。
「OBD検査」と「OBD確認」の操作手順に大きな違いはありません。どちらのモードを選択しても、検査または確認の実施履歴としてシステムに記録されます。

モード	利用者	用途
OBD検査	指定工場の検査員	法令に準拠してOBD検査を実施する際に使用します。
OBD確認	指定工場、認証工場の工員および検査員	点検・整備時に、OBD検査と同等の確認を行う際に使用します。 以下のようなケースでもOBD確認を行えます。 • アプリを使用したOBD検査の習熟のため、OBD確認を行うとき • OBD検査対象車両でOBD検査に必要な情報が未登録の場合や、OBD検査対象外車両でもJ-OBDⅡ適用車両の場合、規格データに基づいて排ガスOBDの点検のみを行うとき

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

検査用スキャンツールを選択する



インストールされている検査用スキャンツールのドライバが1つの場合は、自動的に検査用スキャンツールが選択されます。
インストール検査用スキャンツールのドライバが2つ以上ある場合は、
プルダウンリスト 必須 XXX-XXX を押して、使用する検査用スキャンツールを選択してください。

選択したものと異なる検査用スキャンツールを車両に接続し検査を行った場合、正常に作動しない可能性があります。
検査用スキャンツールのドライバ名を確認のうえ、正しいスキャンツールを選択し、再度検査を実施してください。

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

車両情報を入力する

《OBD検査モード》画面で、検査を受ける車両の情報を入力します。車検証または電子車検証に対応する読み取り機器（リーダ）の有無によって、以下の3つの方法があります。

- 二次元コードリーダを使用して、車検証の二次元コードを読み取る
- ICタグリーダを使用して、電子車検証のICタグを読み取る
- 読み取り機器を使用せず、車両情報を手入力する

車検証の情報と異なる車両で、誤ってOBD検査を実施した場合は、再度車両の受付からやり直し、正しい車両情報を入力のうえ、もう一度OBD検査を実施してください。

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

車検証の二次元コードを読み取る場合

入力方法を選ぶ

「車検証二次元コード読取」を押します。

読取モードを選ぶ

- 読取モード1：二次元コード2、3（QR2、QR3）を連続で読み取り、自動で画面を閉じて読み取り内容を登録します。
- 読取モード2：リーダで読み取った内容を入力欄に反映し、「確定」を押すことで入力内容を登録します。

リーダによって選択する読取りモードが異なります。
本研修では、「読取モード1」を選択する場合の操作方法を説明します。
「読取モード2」を選択する場合は、マニュアルを参照してください。

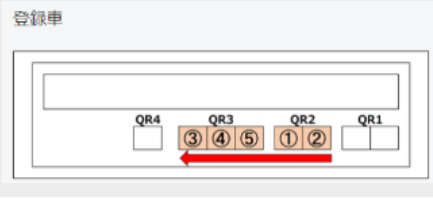
Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

二次元コードを読み取る

車検証に記載された「二次元コード2」(QR2)、「二次元コード3」(QR3)の順に読み取ります。

車検証の二次元コード2（QR2）、二次元コード3（QR3）の位置を確認できます。

①②（QR2）、③④⑤（QR3）の順に、右から二次元コードを読み取ります。

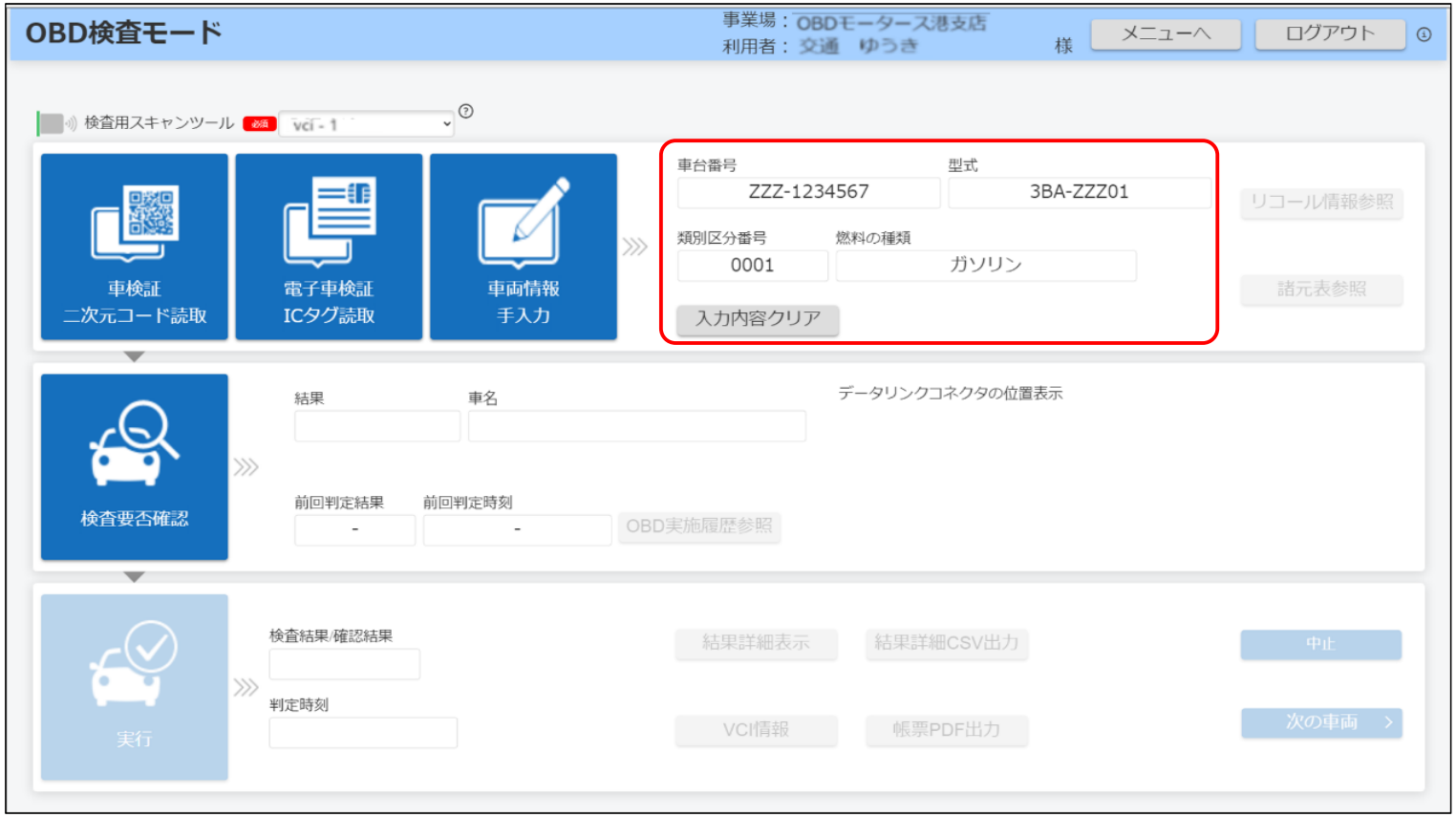


使用する機器によって使用方法や動作が異なります。
詳細は、OBD検査ポータルの以下のページより「■QRコードリーダ」をご確認ください。
《OBD検査ポータル》
整備事業者の方 / OBD検査で使用する機器 / その他の機器（任意）
https://www.obd.naltec.go.jp/mainte/device/#other-device

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

読み取り後

読み取った車両情報が登録されると《OBD検査モード》画面に戻ります。以下のように、入力した情報が反映されます。



Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

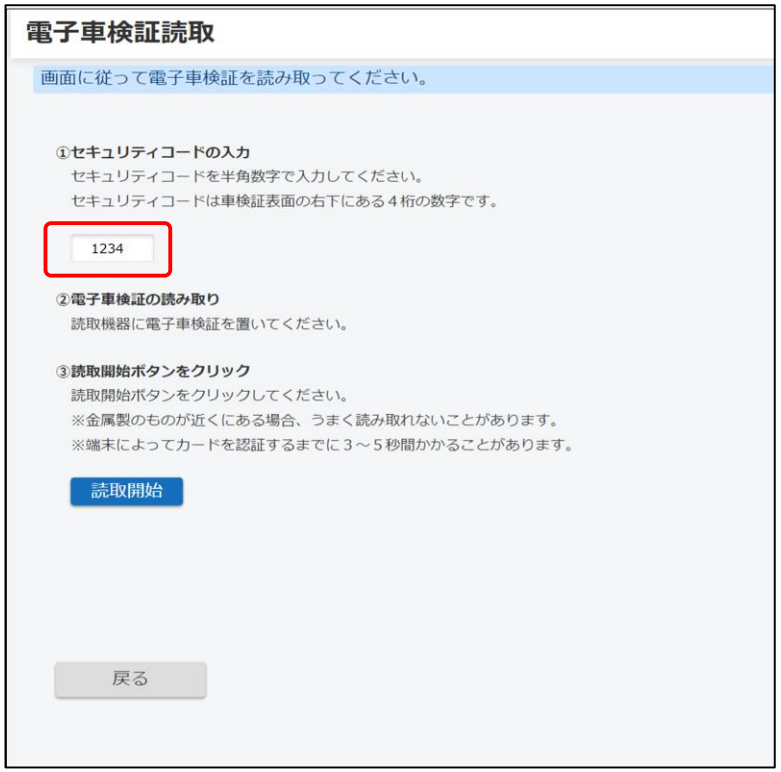
電子車検証のICタグを読み取る場合

入力方法を選ぶ

「電子車検証ICタグ読取」を押します。

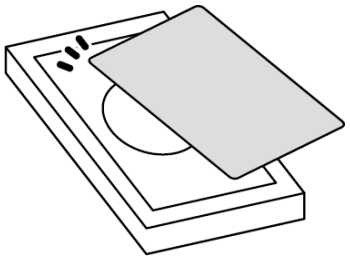
セキュリティコードを入力する

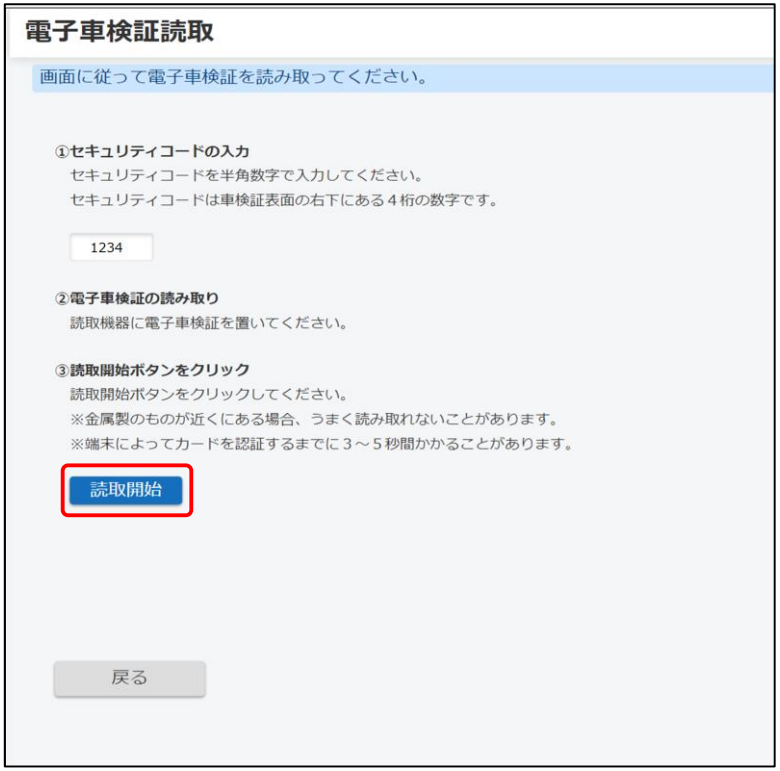
電子車検証の右下に記載されている4桁の数字を入力します。



Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

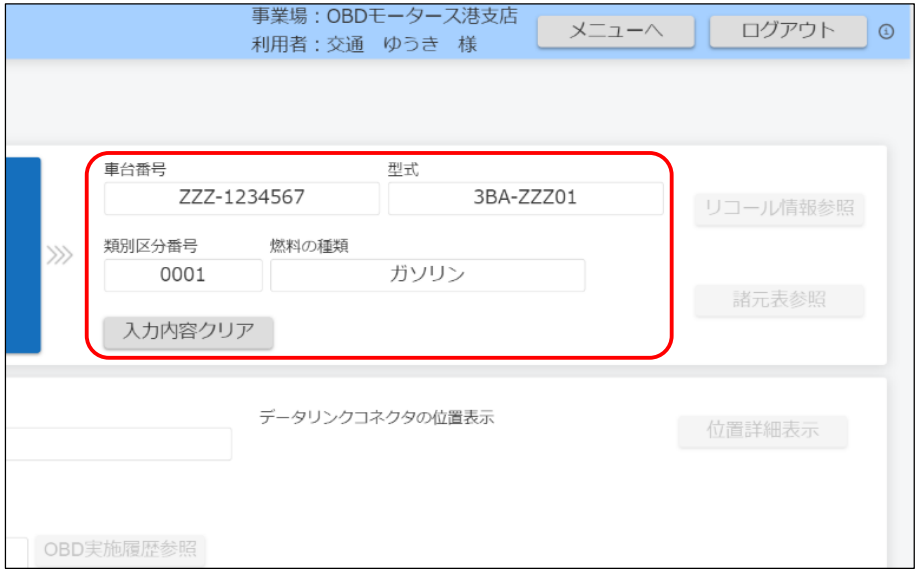
電子車検証をICタグリーダにかざし、「読取開始」を押す





読み取り後

読み取った車両情報が入力されると《OBD検査モード》画面に戻ります。
以下のように、入力した情報が反映されます。



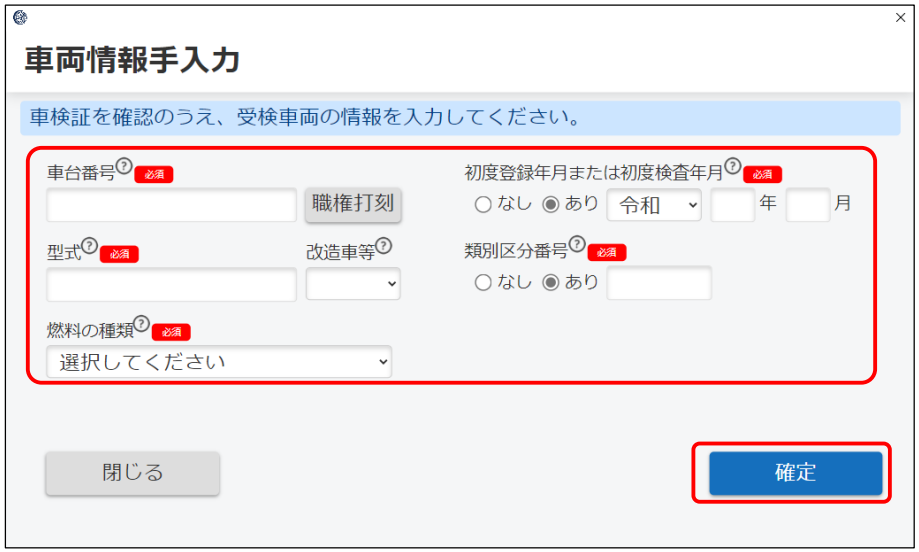
Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

車検証または電子車検証の情報をキーボードなどにより入力する場合

入力方法を選ぶ

「車両情報手入力」を押します。二次元コードリーダやICタグリーダがない場合はこちらを選択してください。

車両情報を入力し、「確定」を押す



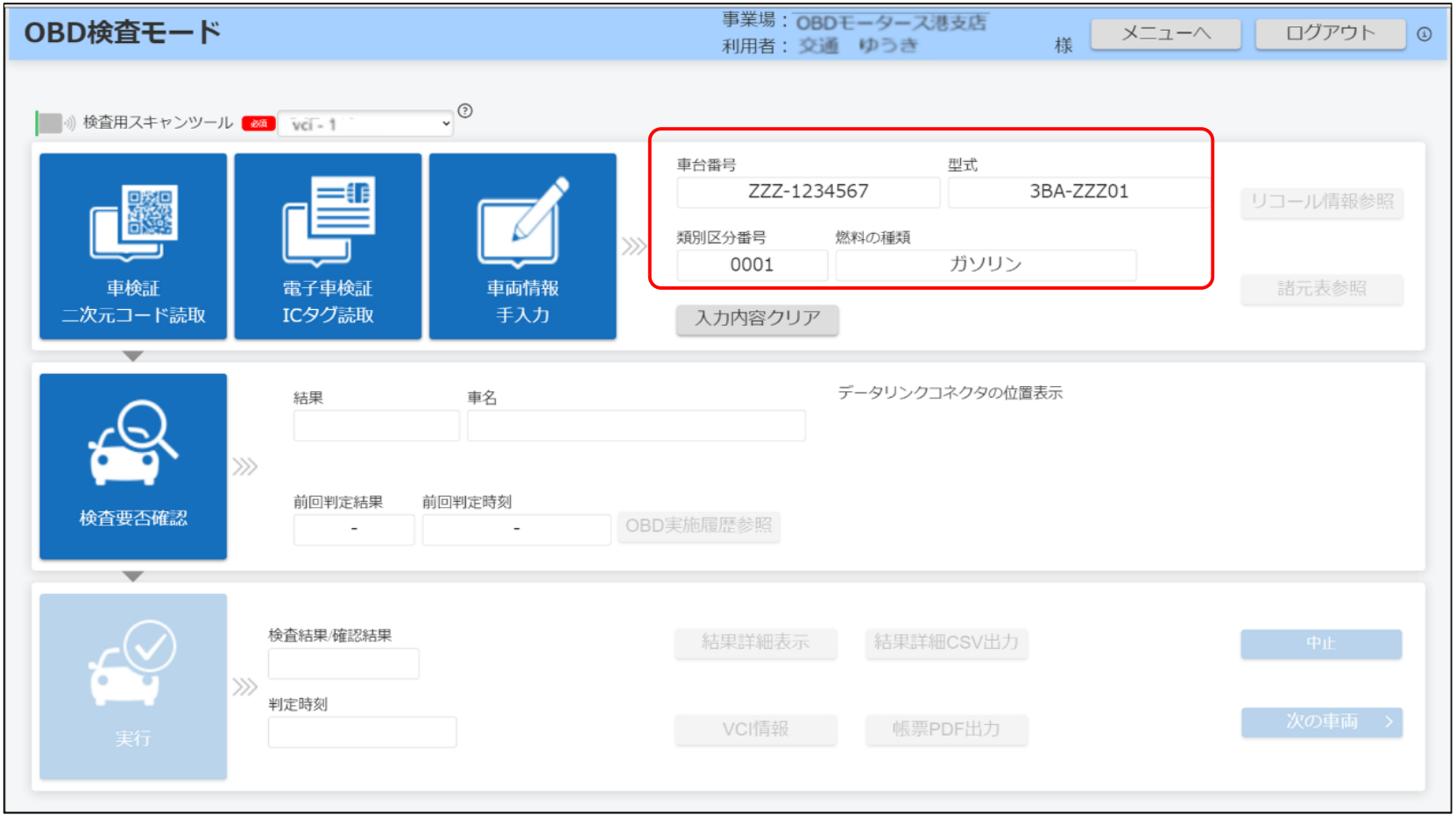
車検証または電子車検証の以下の記載内容を、入力または選択します。

- 車台番号
- 型式
- 燃料の種類
- 初度登録年月または初度検査年月
- 類別区分番号

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

入力後

車両情報が入力されると《OBD検査モード》画面に戻ります。以下のように、入力した情報が反映されます。



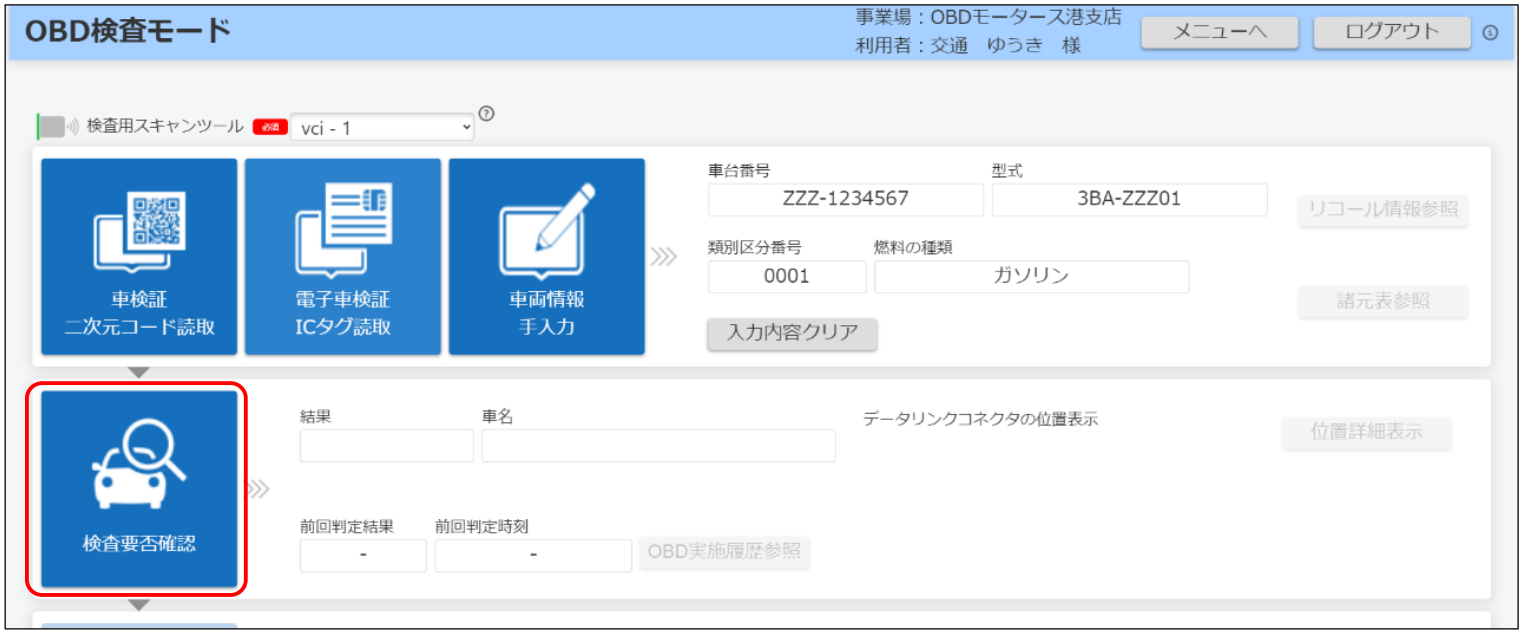
Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

8. アプリでOBD検査要否確認を行う

Point OBD検査が必要かどうかを自動確認

車両受付が完了したのち、OBD検査が必要かどうかをアプリで確認します。
※車両と検査用スキャンツールを接続する前に、アプリでこの作業を行ってください。

車両受付が完了した後、「検査要否確認」を押す

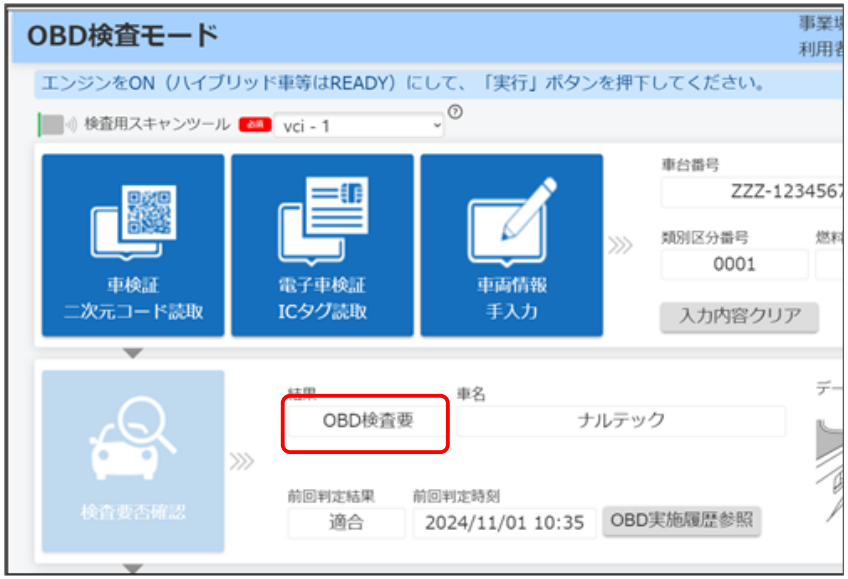


OBD検査の要否確認が開始されます。
以下の画面が表示された場合は、画面に従って車両の情報を入力してください。

- 《車名選択》画面：対象の車両を特定できない場合に表示されます。
- 《車両ID入力》画面：対象の車両IDを特定できない場合に表示されます。
- 《その他燃料選択》画面：その他燃料の情報追加が必要な場合に表示されます。

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

結果を確認する



「結果」欄には、以下のいずれかが表示されます。

結果	説明
OBD検査要	OBD検査を実施する必要があります。
OBD検査不要	OBD検査を実施する必要がなく、OBD検査はできません。
OBD検査不可	OBD検査に必要な車両情報が存在しない場合に表示されます。OBD検査コールセンターにお問い合わせください。

「OBD検査要」の表示がある場合

OBD検査を行います。

「OBD検査不要」の表示がある場合

これ以上の操作は必要なく、OBD検査は終了です。ただし、以下の場合は実施できます。

- OBD検査要否確認結果の帳票（PDFファイル）やCSVファイルのダウンロード
- 関連情報や過去のOBD検査実施履歴情報の閲覧

なお、OBD確認モードの場合は、そのままOBD確認に進める場合があります。

「OBD検査不可」の表示がある場合

OBD検査モードの場合は、これ以上の操作はできません。OBD検査対象車であって、車検証記載されているか、または電子車検証ICタグ情報に格納されているOBD検査開始年月日が到来している場合は、OBD検査コールセンターにお問い合わせください。
OBD確認モードの場合は、そのままOBD確認に進める場合があります。ただし、画面の上部にエラーメッセージが表示された場合は、メッセージに従ってください。
OBD検査を終了しても、以下の操作は実施できます。

- 関連情報や過去のOBD検査実施履歴情報の閲覧

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

9. データリンクコネクタの位置を確認する

Point 検査用スキャンツールを接続する車両のコネクタを確認

車両のデータリンクコネクタの位置を確認します。

データリンクコネクタは、検査用スキャンツールを接続するためのコネクタです。

「データリンクコネクタの位置表示」を確認する

データリンクコネクタの位置が、赤色のマーカーで表示されます。

データリンクコネクタの位置のイラストを確認します。

「位置詳細表示」を押す

データリンクコネクタの詳細な位置情報を確認できます。

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

詳細を確認する

接続端子を挿入する角度・向きなどを確認できます。

左右ハンドルの情報がある場合、タブを押して切り替えられます。

データリンクコネクタの角度・向きがイラストで表示され、カバーの有無が表示されます。

データリンクコネクタの参考画像と説明文が表示されます。

⊕を押すと、画像やイラストが拡大表示されます。

この画面を閉じます。

情報が複数ページある場合、＜＞を押して、ページを切り替えます。

データリンクコネクタの位置が、赤色のマーカーで表示されます。

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

10. 【車検証読取り、車両受付と要否確認、コネクタ位置確認の講師デモ】

前のスライドでご紹介した、アプリへのログイン、車検証読取り、OBD検査の要否確認、データリンクコネクタ位置の確認の操作について、アプリの操作をご覧いただきます。

デモ動画▶アプリにログインする（初回）

デモ動画▶車両の受付をする

デモ動画▶OBD検査要否確認をする/コネクタの位置の確認をする

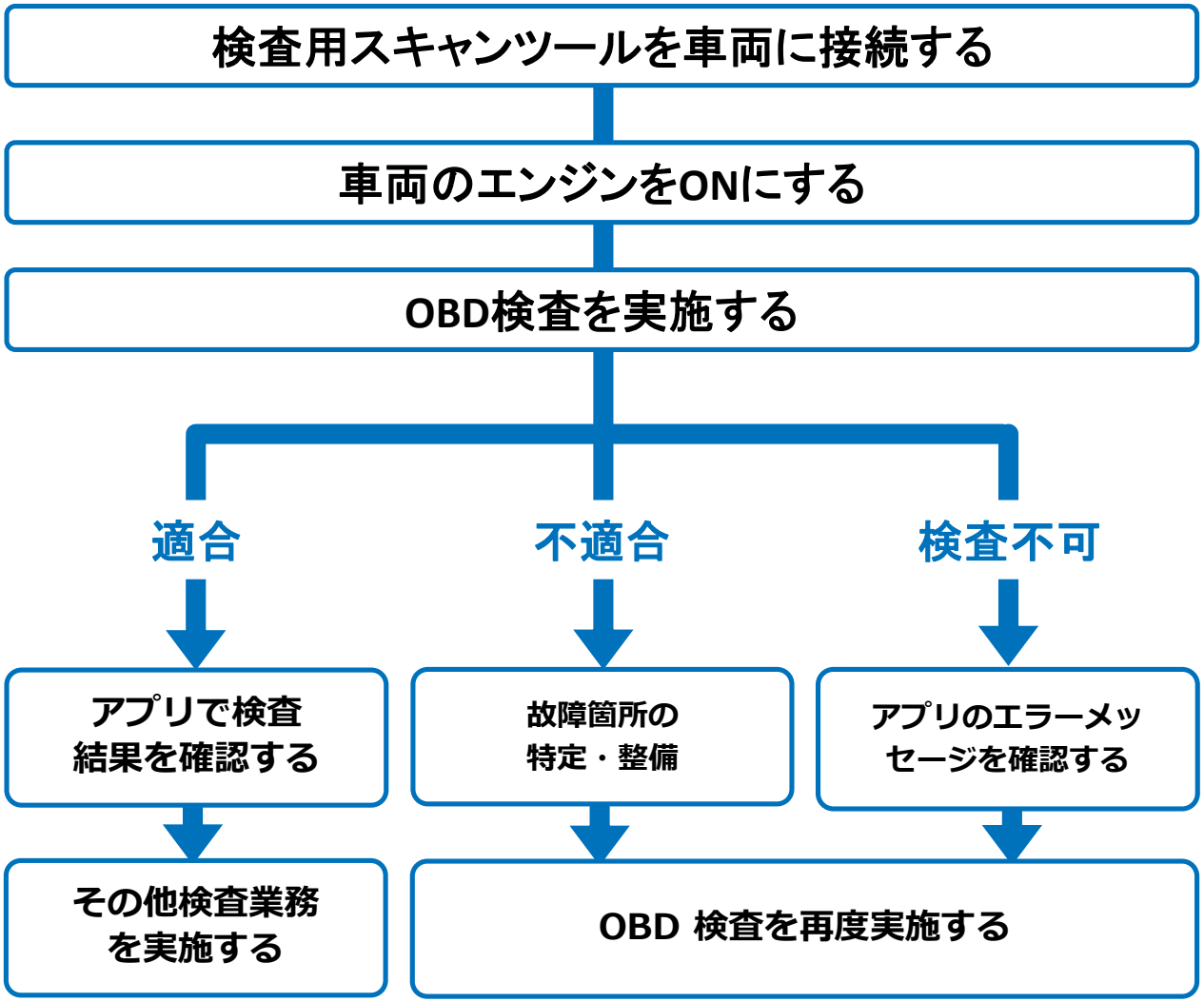
※デモ動画は外部サイトへ移動します。

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

11. OBD検査を行う

Point OBD検査を実施し、OBD検査用サーバーが検査結果を自動判定

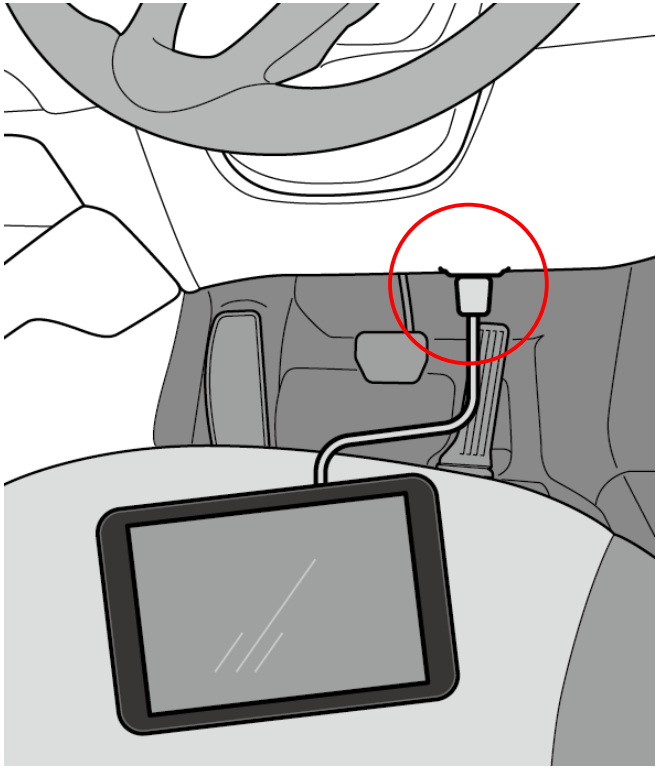
OBD検査は以下の流れで実施します。



Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

検査用スキャンツールを接続する前に、車両の電源がOFFであることを確認してください。

車両のデータリンクコネクタに、検査用スキャンツールの接続端子を接続する



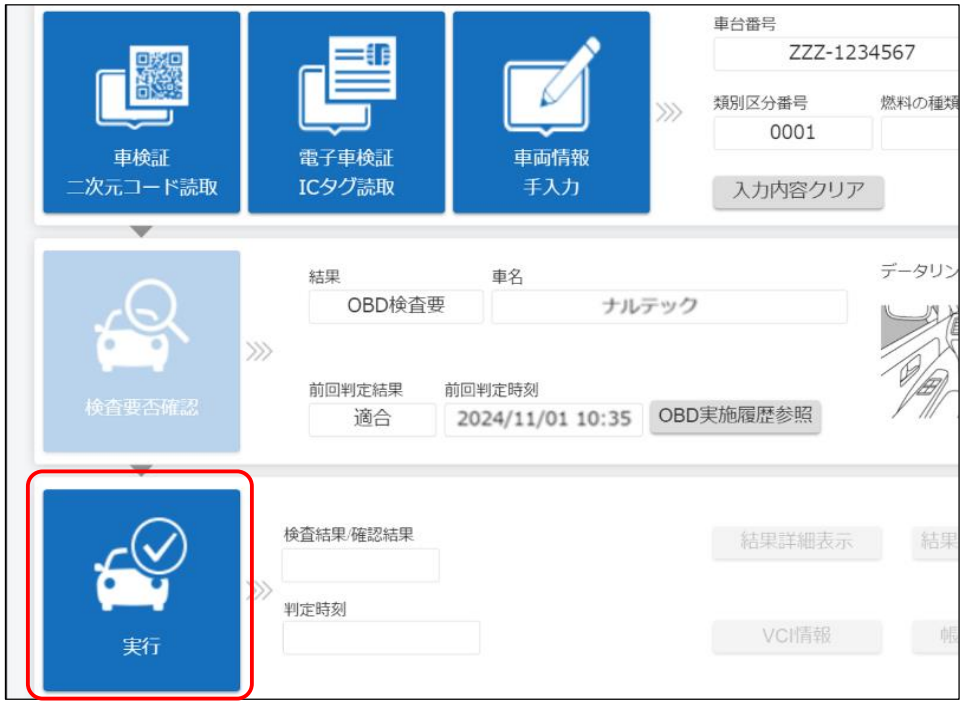
車両のエンジンをONにする

ハイブリッド車等はREADYにします。

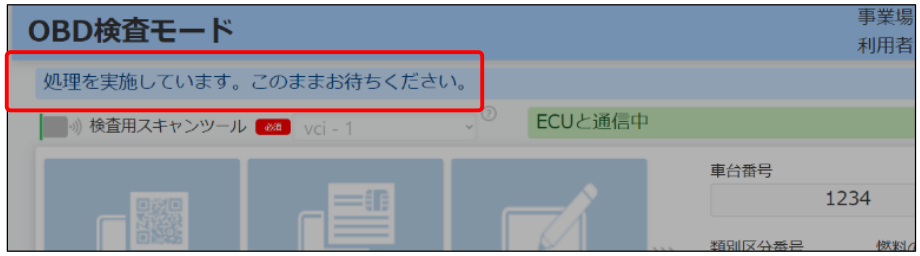
キーOFFやイグニッションONの状態でOBD検査を実施した場合は、検査結果にかかわらず、エンジンをONにした状態で再度「実行」ボタンを押下してください。

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

《OBD検査モード》画面で、「実行」を押す



「処理を実施しています。このままお待ちください。」というメッセージが表示されます。



検査が完了すると、検査結果が表示されます。

検査結果を確認する

表示されたメッセージと検査結果（適合／不適合）を確認します。

メッセージに従って、操作を行ってください。

検査結果	説明	表示されるメッセージ
適合	OBD検査に適合です。	処理を終了します。イグニッションをOFFにして、検査用スキャンツールを取り外してください。 **メモ** 検査用スキャンツールを取り外すときは、イグニッションがOFFになっていることを確認してください。
不適合	OBD検査に不適合です。検査結果を確認したうえで点検・整備を行ってください。	
空欄（検査不可）	エラーにより、OBD検査ができません。表示されるメッセージでエラー内容を確認してください。	メッセージの例： 受検車両との通信でエラーが発生しました。検査用スキャンツールの接続を確認のうえ、再度、「実行」を押してください。

現在故障のみを特定DTCとして検出するため、過去の故障履歴があってもOBD検査結果に影響を与えることはありません。

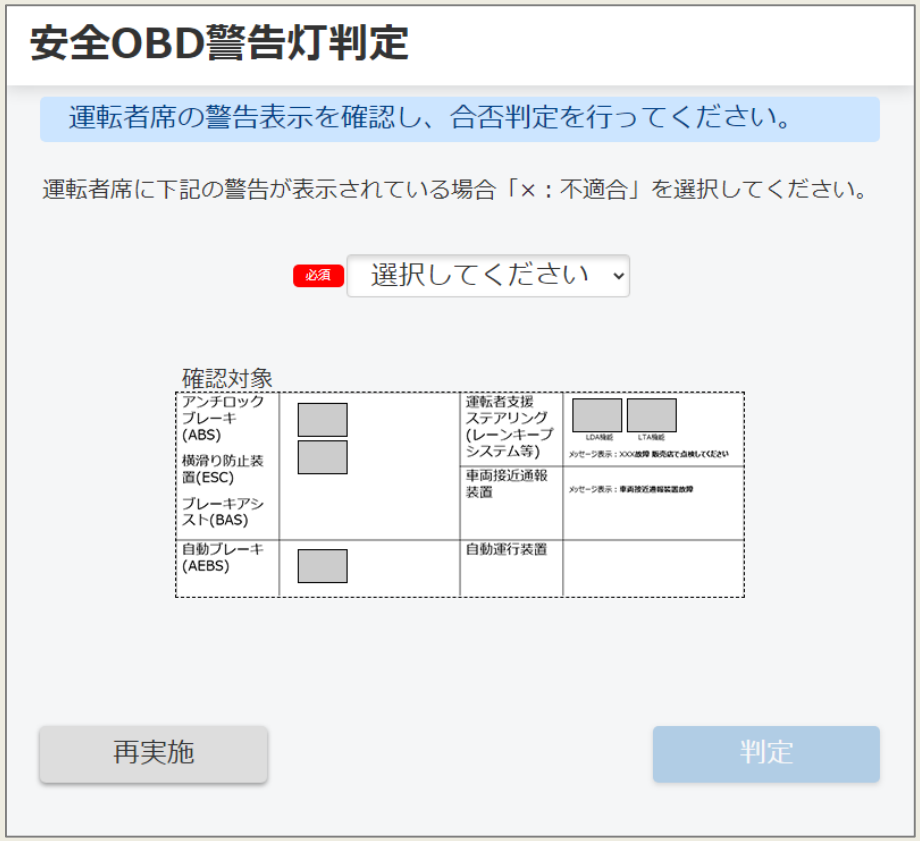
Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

《排ガスOBD 警告灯判定》画面が表示された場合

改造により排ガス規制の適用が変わった場合、《排ガスOBD警告灯判定》画面が別ウィンドウで表示されることがあります。
運転者席の警告表示を目視により確認し、画面の表示に従って合否判定を行ってください。

《安全OBD 警告灯判定》画面が表示された場合

安全系のOBD検査対象装置との通信ができなかった場合、《安全OBD警告灯判定》画面が別ウィンドウで表示されることがあります。
運転者席の警告表示を目視により確認し、画面の表示に従って合否判定を行ってください。



12. 【OBD検査実施の実車デモ】

実車エリアに移動して、前のスライドでご紹介した、アプリで行う以下のOBD検査業務を実際にご覧いただきます。

- 車両への検査用スキャンツール接続
- OBD検査の実施
- OBD検査結果の確認（適合）
- 車両より検査用スキャンツール抜き取り

デモ動画▶OBD検査を行う

※デモ動画は外部サイトへ移動します。

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

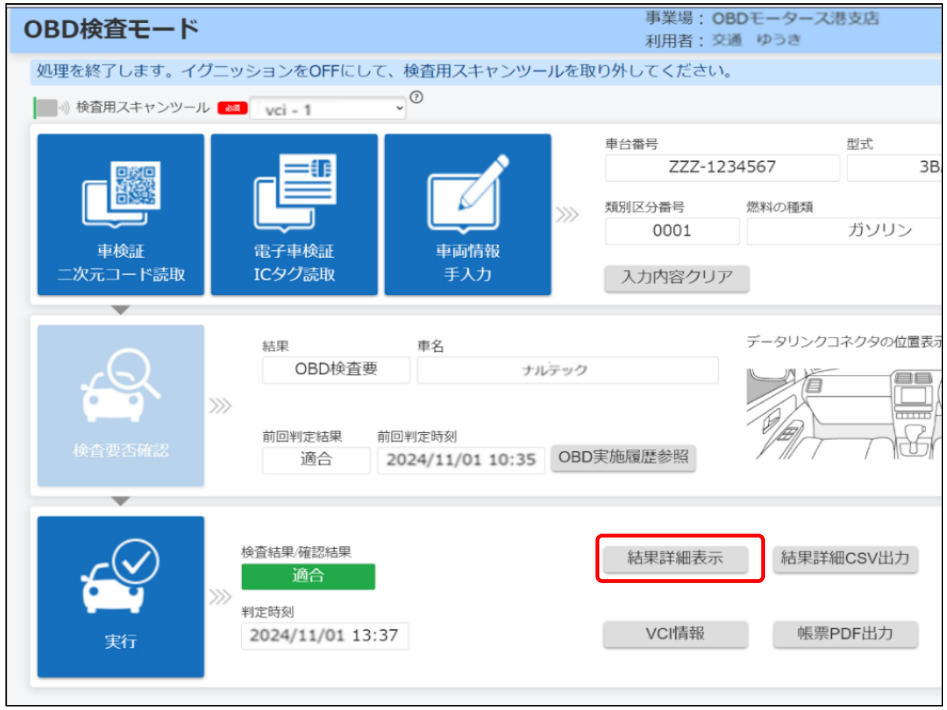
13. OBD検査結果を確認する

Point OBD検査結果が「適合」または「不適合」の検査結果の詳細を確認し、ファイルに出力

OBD検査結果が「適合」または「不適合」になった場合、検査結果の詳細を確認して、帳票やCSVファイルに出力できます。
※OBD検査結果には個人情報が含まれているため、取り扱いには十分注意してください。

OBD検査結果の詳細を表示する

OBD検査が終了した後、「結果詳細表示」を押す → **内容を確認する**



※不適合時の例

警告灯判定を行った場合、「排ガス」「安全」の欄外に“※警告灯判定結果”と表示されます。

OBD検査結果詳細画面に表示しきれなかった特定DTCを確認する場合は、「全ての特定DTCを見る」を押す

すべての特定DTCを一覧で確認できます。

一覧を確認する

項番	区分	ECU名称等	コード	名称
1	排ガス	ecu001	XXX01	００００１
2	排ガス	ecu002	XXX02	００００２
3	安全	ABSECU	C234567	ABS異常
4	安全	AVASECU	C456789	スピーカー断線
5	安全	ADASECU	C567890	エーミング未完了
6	安全	ADASECU	C678901	カメラモジュール異常
7	安全	ADASECU	C789012	レーダーセンサ異常
8	安全	ADASECU	U890123	運転支援装置通信異常
9	安全	ADASECU	C901234	スピードセンサ通信異常
10	安全	ADASECU	C012345	ヨーレートセンサ通信異常
11	安全	BAECU	C123456	ブレーキブースター異常
12	安全	ecu001	XXX01	００００１
13	安全	ecu002	XXX02	００００２
14	安全	ecu003	XXX03	００００３
15	安全	ecu004	XXX04	００００４
16	安全	ecu005	XXX05	００００５
17	安全	ecu006	XXX06	００００６
18	安全	ecu007	XXX07	００００７
19	安全	ecu008	XXX08	００００８
20	安全	ecu009	XXX09	００００９

確認が終了したら、「戻る」を押して、《OBD検査結果詳細》画面に戻ります。

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

OBD検査結果を保存する

OBD検査の結果をPDF形式またはCSV形式でダウンロードして保存することができます。

- PDF形式で保存したファイルは、結果帳票として印刷して自動車使用者の方に渡す場合などに使用できます。
- CSV形式で保存したファイルは、外部システムに取り込むときなどに使用できます。詳細については、外部システムの問い合わせ先にご連絡ください。

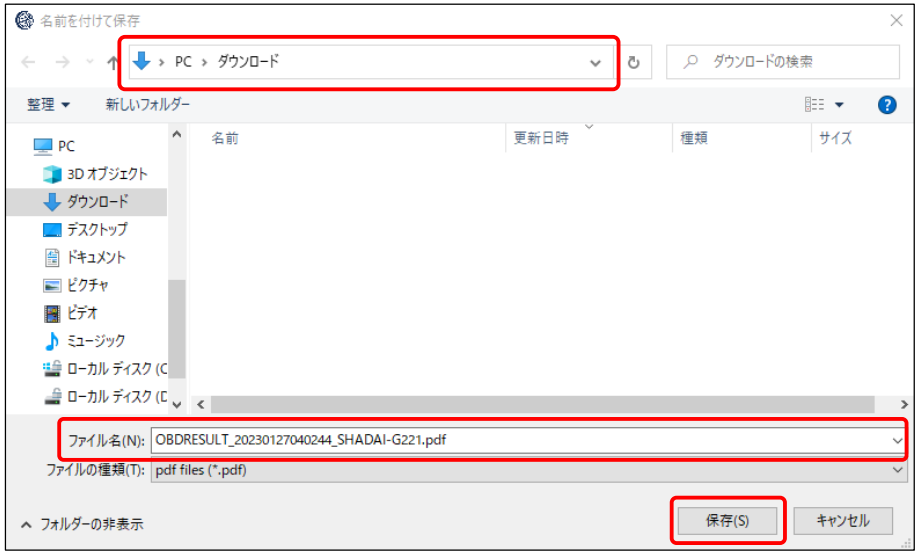
OBD検査結果を出力する際は、以下のことに注意してください。
- OBD検査結果には個人情報が含まれる場合があるため、OBD検査業務関係者以外の方に共有しないよう、取り扱いには注意してください。
- 目的外での情報の利用は禁止されています。

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

帳票（PDFファイル）に出力する

《OBD検査モード》画面で「帳票PDF出力」を押す

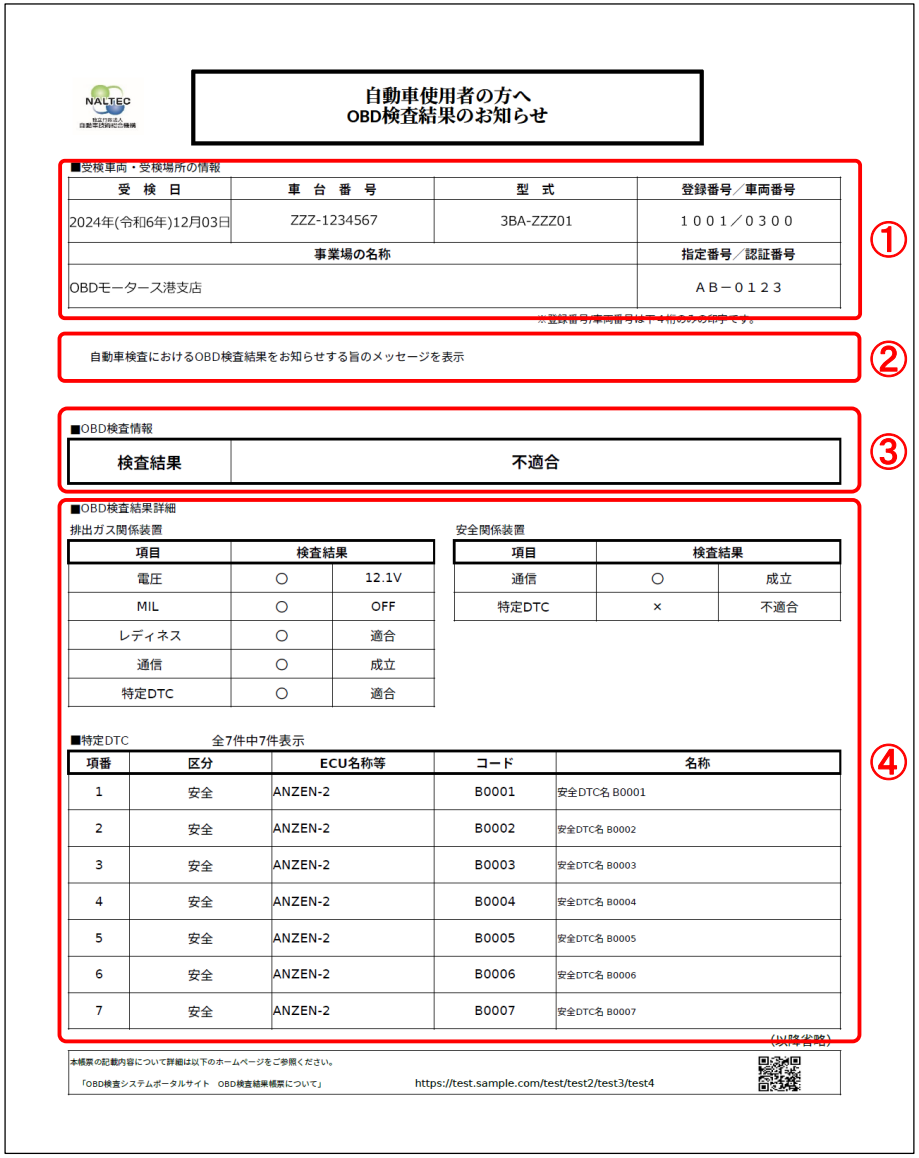
保存先のフォルダーを選択し、「保存」を押す



「OBDRESULT_yyyymmddhhmmss_［車台番号］.pdf」という名前のPDFファイルが保存されます。

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

帳票（PDF）のサンプルは以下です。



自動車使用者の方へ
OBD検査結果のお知らせ

■受検車両・受検場所の情報

受　検　日	車　台　番　号	型　式	登録番号／車両番号
2024年(令和6年)12月03日	ZZZ-1234567	3BA-ZZZ01	１００１／０３００
事業場の名称			指定番号／認証番号
OBDモータース港支店			ＡＢ－０１２３

※登録番号/車両番号は下4桁のみの印字です。

①

自動車検査におけるOBD検査結果をお知らせする旨のメッセージを表示

②

■OBD検査情報

検査結果	不適合

③

■OBD検査結果詳細

排出ガス関係装置

項目	検査結果	
電圧	○	12.1V
MIL	○	OFF
レディネス	○	適合
通信	○	成立
特定DTC	○	適合

安全関係装置

項目	検査結果	
通信	○	成立
特定DTC	×	不適合

■特定DTC　全7件中7件表示

項番	区分	ECU名称等	コード	名称
1	安全	ANZEN-2	B0001	安全DTC名 B0001
2	安全	ANZEN-2	B0002	安全DTC名 B0002
3	安全	ANZEN-2	B0003	安全DTC名 B0003
4	安全	ANZEN-2	B0004	安全DTC名 B0004
5	安全	ANZEN-2	B0005	安全DTC名 B0005
6	安全	ANZEN-2	B0006	安全DTC名 B0006
7	安全	ANZEN-2	B0007	安全DTC名 B0007

④

（以降省略）

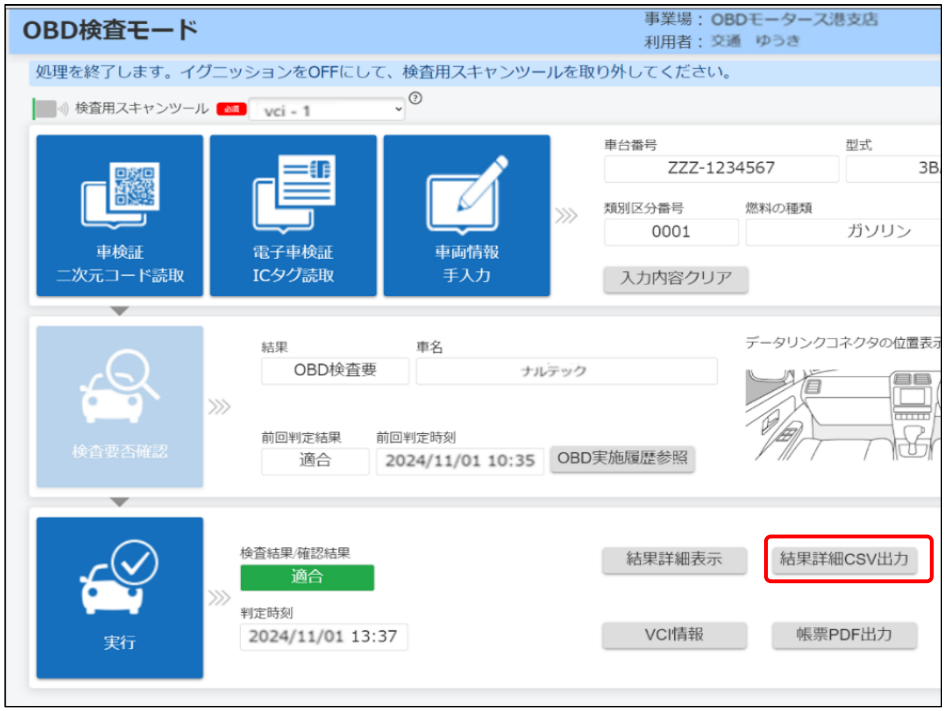
本帳票の記載内容について詳細は以下のホームページをご参照ください。
「OBD検査システムポータルサイト　OBD検査結果帳票について」　https://test.sample.com/test/test2/test3/test4

No.	項目	説明
①	受検車両・受検場所の情報	受検日や受検車両、受検場所などの、受検時の情報が出力されます。
②	メッセージ	自動車検査に関するメッセージが出力されます。
③	OBD 検査情報	OBD 検査または確認の結果が出力されます。 適合の場合：適合 不適合の場合：不適合 OBD 検査不要で終了した場合：OBD 検査対象外
④	OBD 検査結果詳細	OBD 検査または確認結果の詳細が出力されます。

警告灯判定を行った場合、「排ガス」「安全」の欄外に“※警告灯判定結果”と表示されます。

CSV出力する

《OBD検査モード》画面で「結果詳細CSV出力」を押す



保存先のフォルダーを選択し、「保存」を押す

「OBDRESULT_yyyymmddhhmmss_[事業場ID]_[車台番号].csv」というファイル名で、OBD検査結果のCSVファイルが保存されます。

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

14. 【OBD検査結果確認講師デモ】

前のスライドでご紹介した、OBD検査結果の詳細表示、車検証読取り、OBD検査結果をPDFやCSVに保存する操作について、アプリの操作をご覧いただきます。

デモ動画▶OBD検査結果の詳細を表示する

デモ動画▶OBD検査結果を保存する

※デモ動画は外部サイトへ移動します。

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

15. 設定を確認する

Point 検査用スキャンツールや二次元コードリーダなどの設定を確認

OBD検査（確認）に使用する検査用スキャンツールや二次元コードリーダなどの設定を確認します。必要に応じて、設定を入力・変更します。
ここで検査用スキャンツールやモードを設定しておくことで、操作の際の設定や入力を省くことができます。また、設定した内容は操作時に変更することもできます。

《メニュー》画面で「設定」を押す

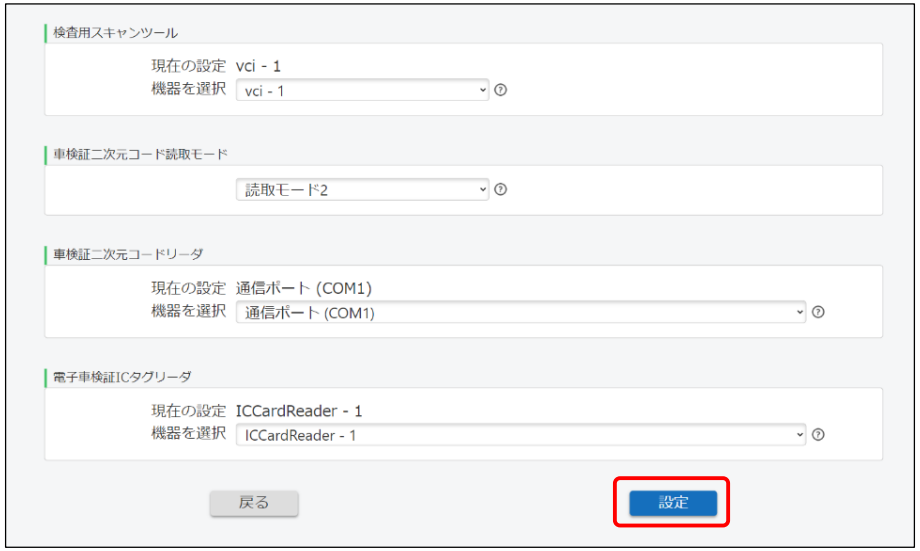
現在の設定を確認する

表示されている設定を確認します。

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

必要に応じて設定を変更する

設定内容を確認して「設定」を押す



プルダウンリストを押して表示される項目から、設定したい機器やモードを選択します。

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

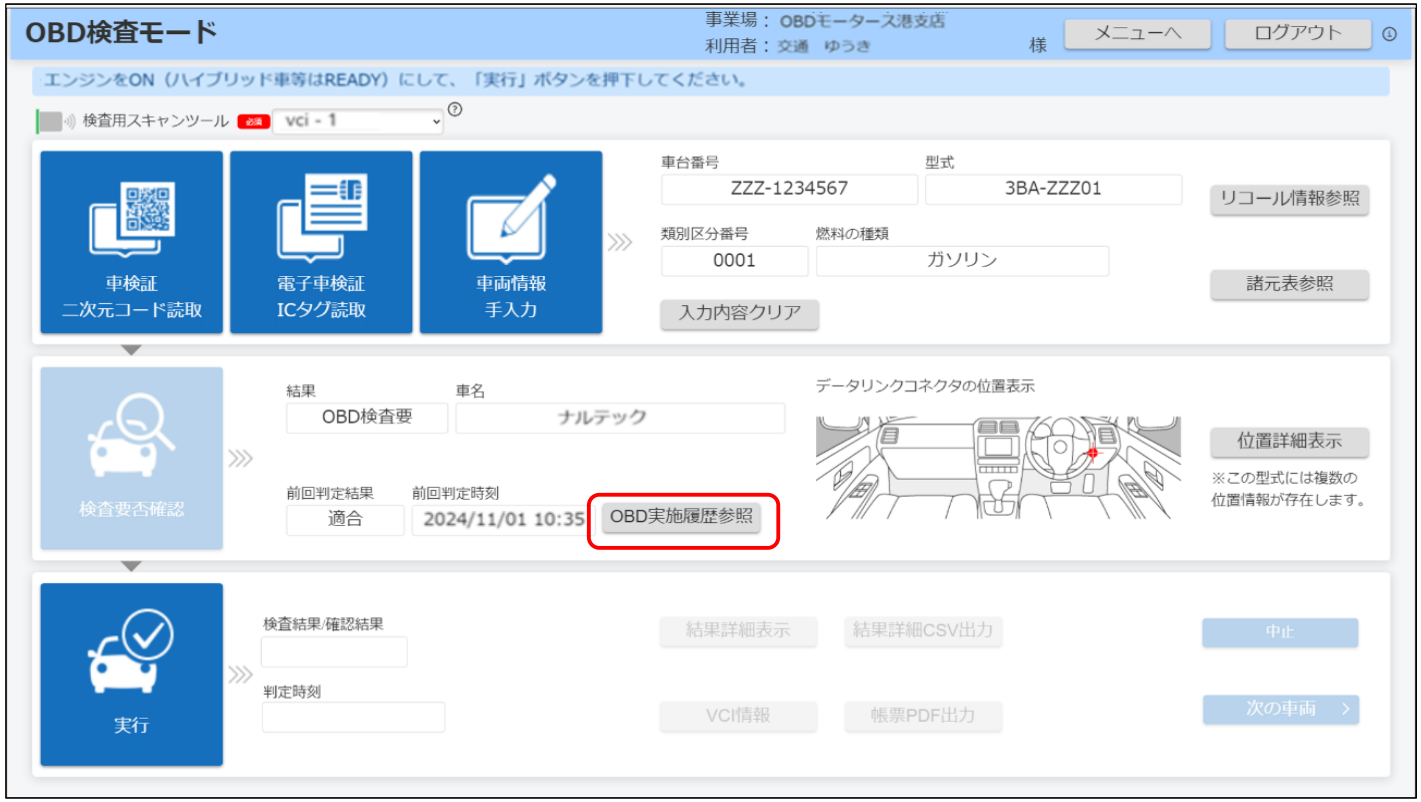
16. 関連情報を確認する

過去に実施したOBD検査の履歴や、車両についての参考情報（諸元表、リコール情報）を確認できます。

過去のOBD検査実施履歴を確認する

「OBD実施履歴参照」を押す

検査要否確認が完了すると、「OBD実施履歴参照」が押せるようになります。



Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

内容を確認する

判定日時が表示されます。

OBD検査は「検査」、OBD確認は「確認」と表示されます。

OBD実施履歴一覧

事業場：OBDモータース港支店
利用者：交通　ゆうき　様

メニューへ　ログアウト

OBD判定結果を確認してください。

車台番号	型式	類別区分番号	燃料の種類
SHADAI3	DAA-GVF50	0003	ガソリン

項番	判定日時	検査／確認	判定結果
1	2024/12/01 18:37	検査	適合
2	2024/11/15 15:00	検査	不適合
3	2024/10/01 15:39	確認	適合
4	2024/09/29 15:05	確認	不適合
5	2024/08/20 16:41	確認	適合
6	2024/07/15 15:42	確認	適合
7	2024/06/08 17:03	確認	適合
8	2024/05/01 15:44	確認	適合
9	2024/04/22 10:45	確認	適合
10	2024/03/31 15:10	確認	適合
11	2024/02/01 15:10	確認	適合
12	2024/01/21 15:48	確認	適合
13	2023/12/19 10:30	確認	適合
14	2023/12/19 10:25	確認	適合
15	2023/12/19 10:22	確認	適合
16	2023/12/19 10:20	確認	適合
17	2023/11/16 17:00	確認	適合
18	2023/09/11 14:35	確認	適合
19	2023/08/04 11:21	確認	適合
20	2023/07/05 16:12	確認	適合
21	2023/06/08 17:03	確認	適合

戻る

過去5年分、最大30件が表示されます。

この画面を閉じます。

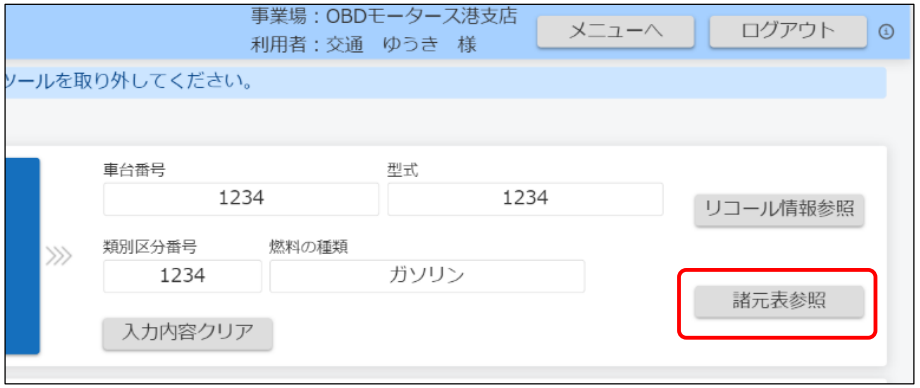
判定結果が「適合」「不適合」で表示されます。

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

諸元表を確認する

「諸元表参照」を押す

検査要否確認が完了すると、「諸元表参照」が押せるようになります。



内容を確認する

型式ごとの諸元情報が表示されます。「内容」欄のリンクを選択すると、諸元表のPDFファイルがダウンロードできます。

「内容」欄にリンクが表示されていない場合は、PDFファイルをダウンロードできません。

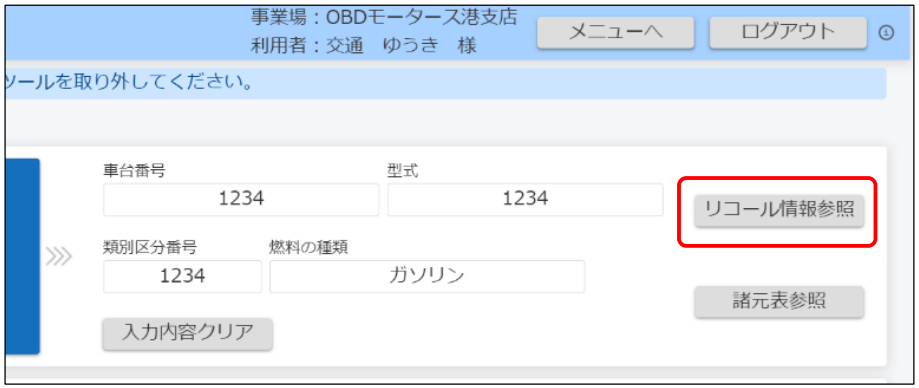
平成14年以降の型式指定自動車であり、かつ、自動車製作者等から諸元表情報が登録されている車両の諸元表を見ることができます。
ただし、すべての情報を網羅しているわけではないため、あくまで参考情報として取り扱ってください。

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

リコール情報を確認する

検査要否確認が完了し、車名コードが特定できる場合に、「リコール情報参照」のボタンが押せるようになります。

「リコール情報参照」を押す → リコール情報を確認する



対象車両のリコール届出をした自動車製作者等のホームページが、別ウィンドウ（Webブラウザ）で表示されます。

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

17. 【設定確認・関連情報確認講師デモ】

前のスライドでご紹介した、OBD検査（確認）に使用する機器の設定確認、関連情報の確認の操作について、アプリの操作をご覧いただきます。

デモ動画▶設定を確認する

デモ動画▶関連情報を確認する

※デモ動画は外部サイトへ移動します。

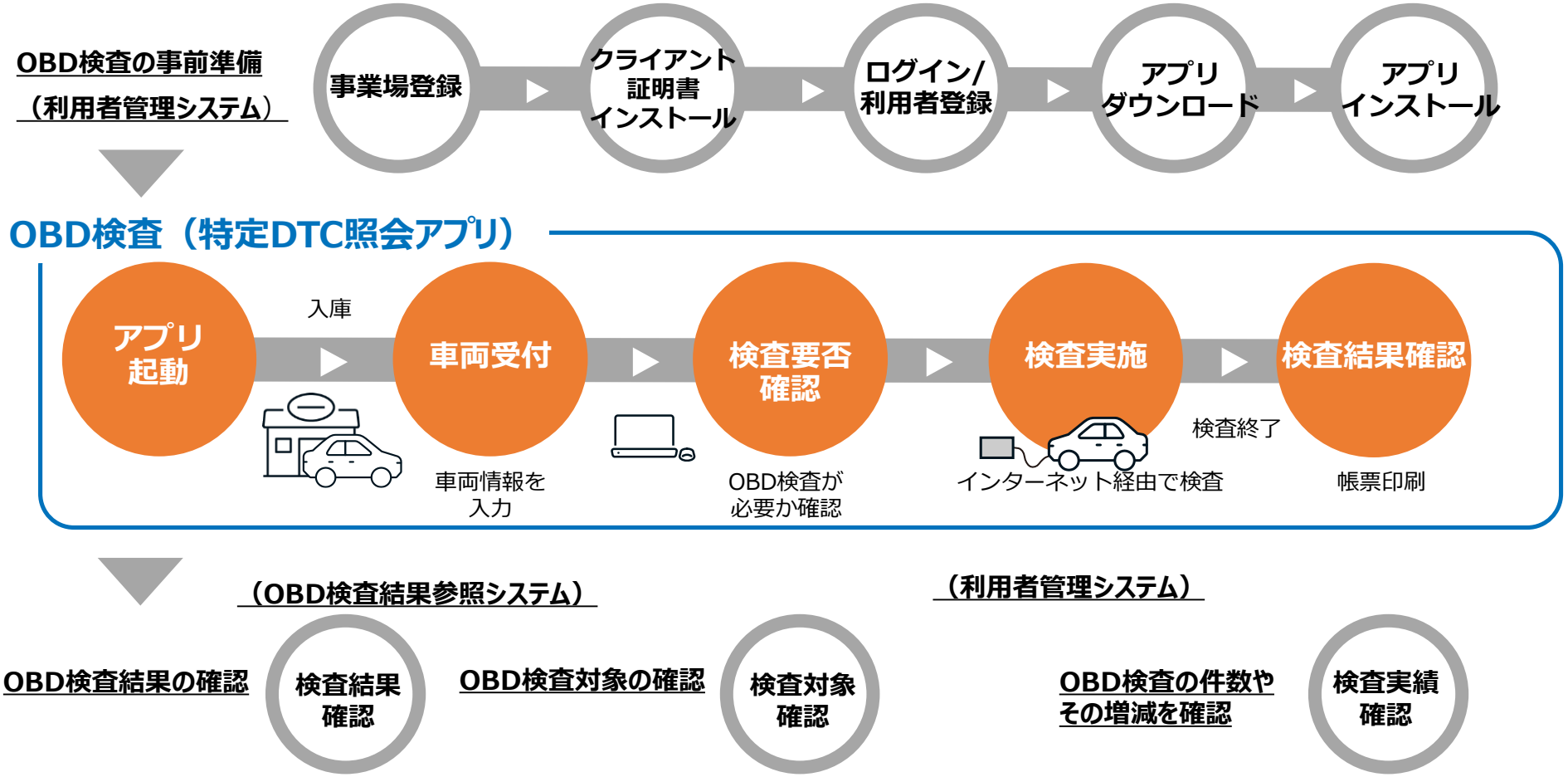
Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

18. まとめ

本研修でご紹介したアプリの機能をまとめます。

- **特定DTC照会アプリの機能概要**

利用者管理システムでOBD検査の事前準備を行った後、アプリでOBD検査を行います。



※OBD検査結果をアプリとOBD検査結果参照システムで確認できます。

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

● OBD検査の要否を自動で確認

本アプリでは、画面の案内に従って車両情報を入力することで、車両がOBD検査の対象であるかどうかを自動判定します。

● OBD検査の合否を自動判定

OBD検査は本アプリとOBD検査用サーバーとの間で自動的に行われ、OBD検査の合否を自動判定します。

● OBD検査結果の詳細確認

本アプリで行ったOBD検査の合否、詳細な結果やOBD確認結果はOBD検査用サーバーに保存され、車両の情報として後からアプリで確認できます。

必要に応じて、検査結果を帳票（PDFファイル）やCSVファイルとして出力できます。

※検査結果は自動的にOBD検査結果参照システムに連携されるため、OBD検査結果参照システムからも確認できます。

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

19. 困ったときには

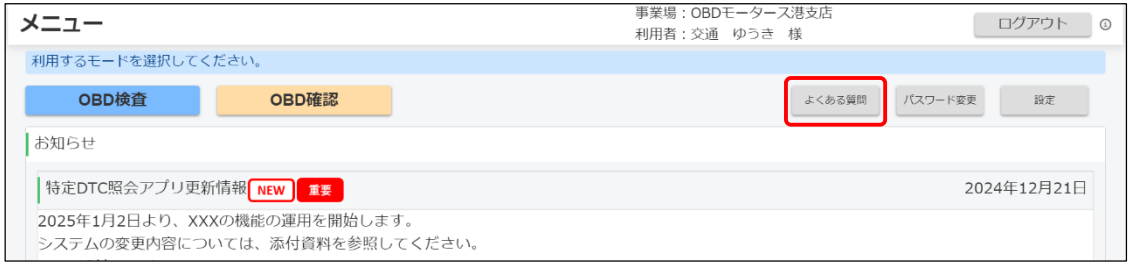
アプリを利用してOBD検査業務を実施中に、困ったことや分からないことがあるときは、アプリの《よくあるご質問》画面やOBD検査ポータル、マニュアルを確認してください。

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

《よくあるご質問》画面

マニュアルのダウンロードや、よくある質問に対する回答の確認、チャットボットでの問い合わせができます。また、お問い合わせ先としてOBD検査コールセンターの電話番号が記載されています。

《メニュー》画面で「よくある質問」を押すと、《よくあるご質問》画面が表示されます。



各種マニュアルのリンク（青文字）を押すと、マニュアルのダウンロードや確認ができます。

▶を押すと、カテゴリごとの質問と回答が確認できます。

「チャットボット」を押すと、チャットボットの画面（質問に自動で回答してくれる画面）が開きます。

OBD検査コールセンターの電話番号が記載されています。

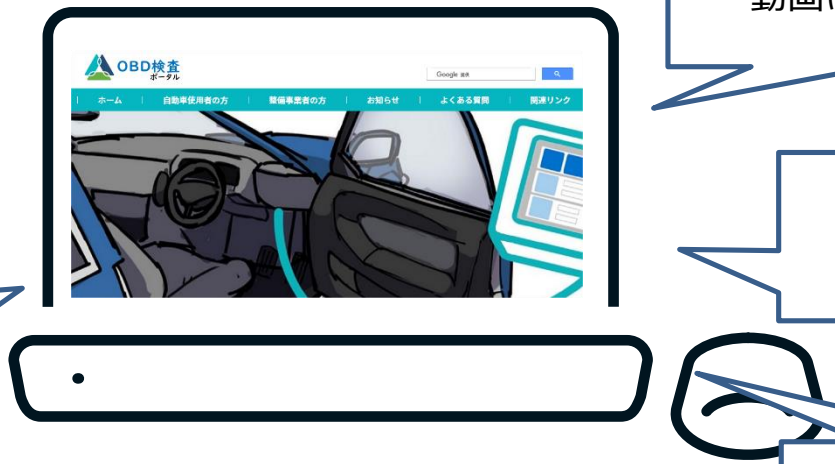
Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

OBD検査ポータルサイト

OBD検査に関する情報発信、学習支援メニューとして、「OBD検査ポータル」を設置しています。
OBD検査ポータルでは、OBD検査システムへのログイン、マニュアルの確認、動画による自主学習、お知らせの確認、チャットボットでの問い合わせができます。また、検査用スキャンツールに関する情報が掲載されていますので、検査用スキャンツールに関するお問い合わせがあった際も情報を確認することができます。

https://www.obd.naltec.go.jp

OBD検査ポータル



OBD検査システムへ
ログイン

動画による自主学習

OBD検査で使用する機器の紹介
（日本自動車機械工具協会HP：
https://www.jasea.org）

チャットボットによる
問い合わせ

お知らせ確認

マニュアルの確認

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

お問い合わせ先

本アプリについてのお問い合わせ先は以下になります。

お問い合わせ先：**OBD検査コールセンター**

電話番号：0570-022-574
対応時間：9 時 00 分～17 時 00 分（12 月 29 日から 1 月 3 日を除き、年中無休）

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

20. 質疑応答

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

21. クロージング

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology